



かねしろ便り

2022年6月号
がん検診を受けましょう！



血糖値が上がってきていますが、最近、頑張ってますか？



朝倉医師

食事や運動も、先月よりがんばっているのですが…。

身体の中に悪いものがあったり、ストレスに感じることがあると、血糖値が上がることがあります。最近、がん検診は受けていますか？



そういえば、検診の案内が届いていました。コロナが怖くて、ここ2年くらい受けていないのですが、受けた方がいいですか？



同じようにおっしゃる患者さんが沢山いらっしゃいます。今でも、がん検診を控えている方が多くいて、2021年の受診者数も新型コロナウイルスが流行する前のようには戻っていません。そのために、数万人の“がん未発見患者”がいるのではないかと、いわれています。今年はぜひ、受けて頂きたいですね。



でも、自覚症状もないですし…。



早期のがんは、自覚症状がない場合がほとんどです。今は、日本人の2人に1人が、がんになる時代です。年間では3割の人が、がんで亡くなっています。早期発見、早期治療のために、少なくとも1年に1回はがん検診を受けましょう！



がんの罹患数順位（2018年）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	胃	肺	乳房	前立腺
男性	前立腺	胃	大腸	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

糖尿病の方は がんのリスクが高い ことが報告されています

糖尿病と癌に関する委員会(日本糖尿病学会と日本癌学会の合同委員会) 報告より

糖尿病と がんの 共通要因

- 肥満
- 運動不足
- 偏った食事
- 喫煙
- お酒の飲みすぎ



心がけていただきたいこと

健康的な 生活習慣

糖尿病の合併症だけではなく、
がんのリスクを減らすことにもつながります。

- 適度な運動
- バランスのよい食事
- 禁煙
- 節酒



がん検診 を受ける

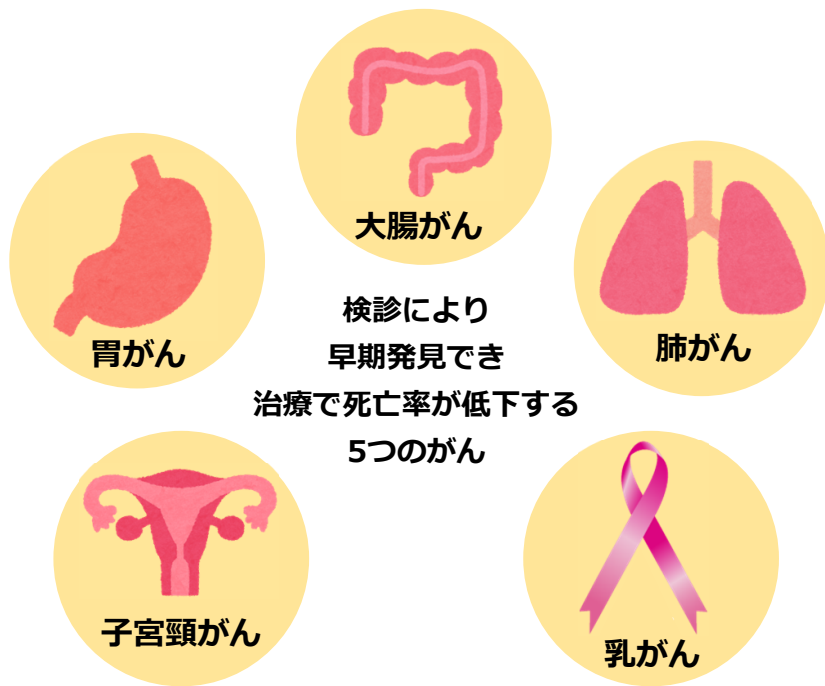
健康保険組合 や 自治体 が実施している
がん検診 を必ず受診してください！

糖尿病の有無にかかわらず、国が推奨するがん検診は
胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんの5つです
自治体や健康保険組合の がん検診を積極的に受けましょう！



検診の種類	検査内容	対象年齢	受診間隔
胃がん	胃X線または内視鏡	40歳以上	年1回
大腸がん	便潜血検査	40歳以上	年1回
肺がん	胸部X線	40歳以上	年1回
乳がん	マンモグラフィー	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん	細胞診	20歳以上	2年に1回
前立腺がん	血液検査	50歳以上	年1回

※自治体や健康保険組合により違いがあります。詳しくは各窓口へお問い合わせください。



当院で出来る がんの検査

● 超音波（エコー）検査

腹部エコー	すい臓がん、肝臓がん、胆管がん、 腎臓がん、膀胱がん など
甲状腺エコー	甲状腺がん
乳房エコー	乳がん
● 便潜血検査	大腸がん
● 血液検査 (腫瘍マーカー)	すい臓がん、前立腺がん など

※ 医師の指示により実施いたします。
気になる症状などございましたら、主治医にご相談ください！

当院で、一昨年と昨年の2年間に
腹部エコーと 血液検査を実施された患者さんのうち
およそ20名の方に、すい臓がんの疑いがみられ、
近隣の病院をご紹介して、
すい臓がんの 早期発見・早期治療につながりました。



腹部エコー検査
痛みは無く
10～15分程度

最新情報 や
イベント情報を
お届けします。

LINE



Twitter



Facebook



Instagram



東林間かねしろ内科クリニック ☎ 042-701-1041
鶴間かねしろ内科クリニック ☎ 046-271-7410
杏林堂クリニック ☎ 0465-47-3101

